

沈下橋

JJ1SXA/池

沈下橋(チンカキョウ)というのは、川の水面近くにかけてられ、増水時には水中に沈む橋のことで、流木などが引っかかるのを防ぐため、欄干は無いことが多いようだ、高知県、徳島県、大分県に多くあり、潜水橋とか潜り橋ともいう。

四万十川は、高知県の西部を流れる一級河川で、四国内で最長の川で、流域面積も高知県及び徳島県を流れる吉野川に次ぎ第2位となっている、本流に大規模なダムが建設されていないことから「日本最後の清流」、また柿田川、長良川と共に「日本三大清流の一つ」と呼ばれる。

柿田川は、静岡県駿東郡清水町を流れる川、長良川は、岐阜県郡上市の大日ヶ岳に源を発し、三重県を経て揖斐川と合流し、伊勢湾に注ぐ、濃尾平野を流れる木曾三川(木曾川、長良川、揖斐川の3つの川の総称)の一つであり、下流の一部では愛知県にも面し、岐阜県との県境を成している。

この四万十川には、多くの沈下橋がある、河口から一番近い沈下橋は、佐田(今成)沈下橋です、他に、四万十市内だけでも、深木、高瀬、勝間、口屋内、岩間、長生、中半家、半家の沈下橋があり、いずれも四万十川らしく、川と人との関わりの感じられる風景が見られるようです。

今成橋 (通称/佐田沈下橋)



高瀬沈下橋



中半家沈下橋



徳島県では「沈下橋」と言わず、「潜水橋」と言うそうです、四国三郎の異名を持つ「吉野川」は、高知県および徳島県を流れる川で、利根川（坂東太郎）、筑後川（筑紫次郎）と並び日本三大暴れ川の一つとして数えられる。

この吉野川には、脇町潜水橋、香美潜水橋、千田潜水橋、大野島潜水橋、川島潜水橋、高瀬潜水橋、穴吹川潜水橋、富の谷川の潜水橋、小川谷川潜水橋、貞光川の潜水橋、銅山川の潜水橋、馬路川の潜水橋などがある。

徳島県の潜水橋は、高知県の沈下橋に比べると、造りが頑丈そうだ、流石、暴れ川「吉野川」に架けられた橋ということか？

大野島潜水橋



後は、大分県の沈下橋だが、大分県では、沈下橋は「沈み橋」と呼ばれている、大分県では、一級水系以外に架かるものも含めると合計212ヶ所の沈下橋が確認されている（2007年8月6日現在）、これは、確認されている範囲では、日本の都道府県の中で最も多い数で、その分布も県内各地に広がっている。

龍頭橋は、八坂川の上流部に架かる石造りの沈下橋で、日本最古の沈下橋ということで、2007年に、土木学会によって土木学会選奨土木遺産に認定されている。

龍頭橋

